
持続可能な観光地マネジメントの推進に関する調査研究

2020年7月3日



一般財団法人 運輸総合研究所

主任研究員 齋藤悠

調査研究の目的・内容

今後、観光が持続的に力強く成長するため、観光需要の見通しや観光の地域経済・GDPへの寄与を考慮した上で、エビデンスに基づく持続可能な観光地マネジメントの普及推進を図ることを目的とする。 UNWTOが主導するこうした活動を我が国及びアジア太平洋州で普及させるため、以下に取り組む。

- ①先進的な観光地マネジメントを実施している地域に関する調査分析
- ②指標を用いた持続可能な観光地マネジメントに関するガイドラインの作成

調査研究の進め方

- 運輸総合研究所内に山内弘隆所長を座長とし、学識経験者及び関係行政機関を構成員とする「持続可能な観光地マネジメントの推進に関する調査検討委員会(以下「調査検討委員会」という。)を設置する。
- 調査研究の成果は、毎年度、公開シンポジウムにおいて報告する（初年度は12月予定）。

調査研究の全体像

先進的な観光地マネジメントを実施している地域に関する調査分析

- 観光地マネジメント手法の整理
- 観光地マネジメントにおける活用指標の整理
- 観光地マネジメントに係る市場動向の整理

指標を用いた持続可能な観光地マネジメントに関するガイドラインの作成

- 指標を用いた持続可能な観光地マネジメントに関するガイドライン（案）
（ガイドラインの意義・メリット、旅行市場動向-価値観の変化-、政策課題への対応方法、評価指標の体系、評価指標の検討・作成方法、合意形成方法、運用支援の仕組みの活用方法、先進事例集）

報告・

意見交換

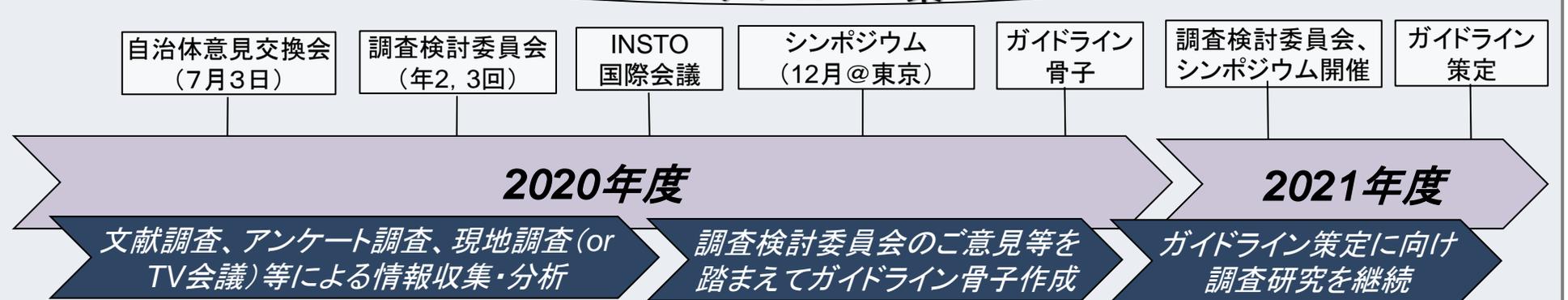
調査検討委員会、シンポジウム等

- 調査検討委員会（年2,3回程度）
- シンポジウム（2020年は12/21に東京大学にて持続可能な観光地マネジメントをテーマに開催）

調査検討委員会 委員名簿

- 山内弘隆 運輸総合研究所長、一橋大学大学院経営管理研究科特任教授【座長】
- 清水哲夫 東京都立大学大学院都市環境科学研究科観光科学域教授【座長代理】
- 乾有貴 東京大学公共政策大学院交通・観光政策研究ユニット(TTPU)特任准教授
- 片山敏宏 観光庁参事官（外客受入担当）
- 加藤久美 和歌山大学観光学部観光学科教授国際観光学研究センターセンター長
- 熊田順一 (株)JTB総合研究所コンサルティング事業部コンサルティング第3部長、主席研究員
- 二神真美 名城大学外国語学部国際英語学科教授
- 古屋秀樹 東洋大学国際観光学部教授
- 本保芳明 国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所代表
- 矢ヶ崎紀子 東京女子大学現代教養学部国際社会学科コミュニティ構想専攻教授
- 矢本哲也 岐阜県観光国際局長
- 渡久地一浩 沖縄県文化観光スポーツ部部長
- 宿利正史 運輸総合研究所会長
- 佐藤善信 運輸総合研究所理事長
- 奥田哲也 運輸総合研究所専務理事、ワシントン国際問題研究所長

スケジュール案



※ただし、次年度以降の調査内容は調査検討委員会委員とも相談して決定するため、今後変更はあり得る。